学校番号	1202

令和８年度　商業科

教科	商業	科目	ビジネス・マネジメント	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「ビジネス・マネジメント」　（190　東法　商業 707）						
副教材等	「商業経済検定 模擬テスト第 1・2 級 ビジネス・マネジメント」（東京法令出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

答えのないビジネスの社会では、たくさんの知識よりも、答えが常に変わるような状況に対応できる力が必要です。みなさんがビジネスの世界で活躍できるマネジメントの感性を磨いてくれることを期待しています。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
ビジネスにおけるマネジメントについて実務に即して体系的・系統的に理解する。
【思考力、判断力、表現力】
ビジネスにおけるマネジメントに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
ビジネスを適切に展開する力の向上をめざして自ら学び、ビジネスにおけるマネジメントに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ビジネスにおけるマネジメントについて、企業における事例と関連付けて体系的・系統的に理解し、マネジメントに関する知識を身につけている。	ビジネスにおけるマネジメントをはじめとした様々な知識などを活用して、マネジメントに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、経済社会の動向、マネジメントに関する理論、データ、成功事例や改善を要する事例など科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく解決することができる。	ビジネスを適切に展開する力の向上をめざして、自らマネジメントについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識を持ち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、経営資源のマネジメント、新たなビジネスの創造と展開などに責任をもって取り組むことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1（4月・5月）	第1章　ビジネスとマネジメント	・企業の発展のためにマネジメントが果たす役割について扱い、日本の伝統的経営が企業の発展にもたらした影響について、具体的な事例を用いて分析し、考察する。 ・技術革新、新しい商品や市場の開拓、新しいビジネスの仕組みや経営組織の形成などが企業に新たな利益をもたらすことについて扱い、具体的な事例を用いて分析し、考察する。 ・創業者や経営者の理念が企業の発展に影響を及ぼすことについて扱い、企業の発展に寄与した創業者や経営者の具体的な事例を用いて分析し、考察する。 ・経済のグローバル化の進展、規制緩和、情報技術の進歩、少子高齢化の進行など企業を取り巻く環境の変化が企業のマネジメントに影響を及ぼしている現状について、具体的な事例と関連付けて学ぶ。	a:マネジメントの役割、イノベーションの重要性などビジネスにおけるマネジメントに関する知識について、企業における事例と関連付けて理解している。 b:企業の発展のためにマネジメントが果たす役割や経営者の理念が企業の発展に影響を及ぼすことなど、マネジメントの意義と課題について、ビジネスの適切な展開と関連付けて見いだしている。 c:ビジネスにおけるマネジメントについて自ら学び、企業を取り巻く環境を踏まえ、マネジメントに主体的かつ協働的に取り組んでいる。	小テスト 定期考査	ワーク シート	宿題 課題
1学期中間考査						

1 （ 6 月 ・ 7 月 ）	第2章　組織のマネジメント	・機能別組織、事業部制組織、カンパニー制組織など組織の主要な形態とその特徴、権限と責任の一致、統制範囲の適正化、命令の統一性の確保について学ぶ。 ・経営理念及びそれに基づく経営目標、経営方針、経営行動基準、コーポレート・アイデンティティなどの意義について、具体的な事例と関連付けて学ぶ。また、経営戦略の意義とそれを実行するために必要なマネジメントの考え方について学ぶ。 ・競争優位を確立する上での企業間連携、企業の合併と買収などの効果について、具体的な事例と関連付けて学ぶ。	a：組織の形態、経営理念など組織のマネジメントについて、企業における事例と関連付けて理解している。 b：組織のマネジメントに関する課題を発見し、それを踏まえ、企業を取り巻く環境の変化、組織のマネジメントに関する具体的な事例など科学的な根拠に基づいて、組織の適切な管理と活性化方策を考案して、実施し、評価・改善している。 c：組織のマネジメントについて自ら学び、組織の一員として組織の適切な管理と活性化に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	小テスト	ワーク シート	宿題 課題
1学期期末考査						

2（9月・10.月）	第3章　経営資源のマネジメント	・人的資源、物的資源、財務的資源、情報的資源などがあること及び経営資源を最適に組み合わせて活用することの重要性について学ぶ。 ・採用計画や研修計画の重要性、労務管理の動機づけの方法、集団の行動様式の概要、対立や軋轢などコンフリクトの概要、リーダーシップの重要性、労働環境の整備とメンタルヘルス対策の重要性及び人的資源をマネジメントする上での課題について学ぶ。また、所得税の源泉徴収制度と住民税の特別徴収制度の概要及び医療保険、年金保険、労働保険など社会保険に関する企業の責任と負担について学ぶ。 ・効率的な生産方式、調達ルートと販売ルートの確立など商品と施設・設備管理の方法及び物的資源をマネジメントする上での課題について学ぶ。 ・財務管理の考え方、財務的資源をマネジメントする上での課題について学ぶ。また、株式と社債の発行、金融機関からの借入など資金調達の方法、様々な金融商品が生み出されている現状、情報技術の進歩に伴う金融サービスなどの変化、金融商品の利点とリスク及び資金の調達と運用の現状・課題について、具体的な事例と関連付けて学ぶ。さらに、財務諸表を基に企業の収益性、成長性及び安全性を分析し、マネジメントに活用していることについて、具体的な事例と関連付けて学ぶ。 ・企業を取り巻く外部環境に関する情報、顧客情報、知的	a：経営資源として人的資源、物的資源、財務的資源、情報的資源などがあること及びそれぞれの経営資源のマネジメントについて、企業における事例と関連付けて理解している。 b：経営資源のマネジメントに関する課題を発見し、それを踏まえ、企業を取り巻く環境の変化、経営資源のマネジメントに関する具体的な事例など科学的な根拠に基づいて、経営資源の管理と活用の方策を考案して実施し、評価・改善している。 c：経営資源のマネジメントについて自ら学び、経営資源の適切な管理と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	小テスト	ワークシート	宿題 課題

		財産等の技術力、信用など情報的資源の重要性とその管理の方法及び情報的資源をマネジメントする上での課題について学ぶ。				
2 学期中間考査						

2 （ 11. 月 ・ 12. 月 ）	第4章　企業の秩序と責任	・企業が継続的に活動する上で、利害関係者（ステークホルダー）がマネジメントを監視するシステム及び情報開示（ディスクロージャー）を行うシステムを構築するなど企業統治（コーポレート・ガバナンス）の重要性について扱い、具体的な事例と関連付けて分析し、考察する。 ・リスク・マネジメントの重要性について扱い、具体的な事例と関連付けて分析し、考察する。また、個人情報の漏洩による損失や賠償責任の発生、将来の不確実性など企業が抱えるリスクの種類、リスクの予防、事故発生時と事後の対応などリスク・マネジメントの考え方及び災害などの緊急事態が発生した時に、損害を最小限に抑えて事業の継続や復旧を図るための事業継続計画の重要性について扱う。さらに、具体的なリスクを想定して、リスクの予防策、事故発生時と事後の対応策などについて考案する。また、保険の意義と種類及び火災保険、賠償責任保険など企業において必要とされる各種保険の概要について学ぶ。 ・環境の保護と保全、持続可能な社会の実現などが企業に求められている現状について、具体的な事例を用いて扱う。また、法令遵守（コンプライアンス）、企業倫理、説明責任（アカウンタビリティ）の重要性について扱い、	a:企業統治（コーポレート・ガバナンス）、リスク・マネジメントなど、企業の秩序と責任について企業における事例と関連付けて理解している。 b:企業の秩序と責任に関する課題を発見し、それを踏まえ、企業を取り巻く環境の変化、企業の秩序と責任に関する具体的な事例など科学的な根拠に基づいて、企業の秩序の維持と責任を果たす方策を考案して実施し、評価・改善している。 c:企業の秩序と責任について自ら学び、企業の秩序を維持し、責任を果たすことに主体的かつ協働的に取り組んでいる。	小テスト	ワーク シート	宿題 課題

		具体的な事例と関連付けて考察する。				
2学期期末考査						
3（1月・2月）	第5章　ビジネスの創造と展開	・日本におけるビジネスの創造の意義と課題について扱い、具体的な事例を用いて考察する。環境やエネルギー問題など具体的な課題を設定し、これまでの学習内容を踏まえて、経営資源の活用を含めた新たなビジネスモデルを考案する。身近な地域のビジネスの動向やビジネスに役立つ資源についての調査や研究を行い、その結果を基に地域産業の振興のための具体的なビジネスアイデアを考案するとともに、事業計画を立案して地域や産業界等に提案し、改善を図る学習活動に取り組む。 ・リスクの測定、必要や経営資源の見積もり、業務の系統化と割り振りを行い、期限や予算など制約条件を考慮してプロジェクトを遂行し、完了させるための計画の立案と実行管理の方法について学ぶ。 ・起業家精神の重要性、起業の意義と支援体制及び事業目的や商号など定款記載事項の決定、事業計画書の作成、資金調達、登記など株式会社を設立するための手続きの概要について学ぶ。	a:ビジネスの創造の意義と課題、プロジェクト管理などビジネスの創造と展開について企業における事例と関連付けて理解している。 b:ビジネスの創造と展開に関する課題を発見し、それを踏まえ、企業を取り巻く環境の変化、ビジネスの創造と展開に関する具体的な事例など科学的な根拠に基づいて、ビジネスの創造と展開に関する計画を立案して実施し、評価・改善している。 c:ビジネスの創造と展開について自ら学び、プロジェクトを適切に管理し、ビジネスの創造と展開に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	小テスト	ワークシート	宿題 課題
3学期学年末考査						

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度